

2026年度
第52回 北海道指定図書 読書感想文コンクール

北海道指定図書

●北海道の先生がおすすめする本を読んで、読書感想文を書こう！

北海道学校図書館協会

小学校低学年		上段：選定部によるコメント 下段：メーカーによるコメント(e-honサイトorメーカーサイトより) 発行年月 ISBNコード
<div>はじまりは わざとじゃない！</div> <div>かさい まり/作 北村 みなみ/絵</div> <div>くもん出版1,540円</div>		<p>同じ出来事でも立場が変わると感じ方も見え方も変わるもの。子どもたちのやり取りや心情描写に自分や相手の思いに気づくことができる物語。</p> <p>わざとぶつかったのに、「わざとじゃない！」と言ってしまった、つばさ。ぶつかられた るいは、いつもつつかかってくる つばさにイライラ。そんな二人に、近所のスーパーでちょっとした事件が起こり……。クラスの中で孤立しそうになる つばさと、少しずつ つばさの気持ちが分かっていく るい。二人は友だちになれるかな？ 大人が手を出すのではなく、子どもたち自身のやりとりの中で、相手の気持ちに気づいたり、自分の思いを伝えたりしながら、少しずつ前に進んでいきます。</p> <div>2025年11月978-4-7743-3905-4</div>
<div>ある星の汽車</div> <div>森 洋子/著</div> <div>福音館書店1,980円</div>		<p>挿絵が物語をリードしていく。列車でひとりの男の子が会おうのは、かつて地球に存在した絶滅種だった。想像力が果てなく広がる一冊。</p> <p>【絶滅してしまった動物たちを描いた創作絵本】広い大地を走る汽車。汽車には、ドードーの紳士、卵を大事に抱えたオオウミガラスの夫婦、リョコウバトの団体客など、たくさんの乗客が乗っています。その中に、お父さんと旅をする男の子がひとり。男の子は車内をまわって、動物たちと会話をしたり、つぶやきを聞いたりします。しばらくすると、汽車が駅に止まり、ドードーの紳士が下車していきます。その後も駅に着くたびに、乗客がひとりずつ降りていき、徐々に車内は寂しくなっていきます。</p> <div>2025年10月978-4-8340-8874-8</div>
<div>ねこきちの てぬぐい</div> <div>かとう まふみ/作</div> <div>講談社1,650円</div>		<p>子猫のねこきちの手ぬぐいになった「まめしぼり」。よだれや汗がついたり、体を洗ったりいつも一緒に過ごしていたが…。様々な役に立つ手ぬぐいの循環サイクルが学べる絵本。</p> <p>豆粒のような丸い模様がずらりと並んでいるのが「まめしぼり」という絞り染めの手拭いです。頭にかぶる、体をふく、物を包む…使いきって、燃やされて、灰になっても役に立つ！江戸の暮らしはSDGsだった！？</p> <p>今日からねこきちの手ぬぐいになった「まめ」。汗をふいたり、物を包んだり、いつもねこきちと一緒に過ごしていたのですが……。手ぬぐいをきっかけにして、物を無駄にしない心や、江戸時代の循環サイクルなどが自然に学べる絵本。</p> <div>2025年6月978-4-06-537611-9</div>
<div>きをそだてる きこりのきこさん</div> <div>室井 さと子/作</div> <div>新日本出版社1,650円</div>		<p>助けあって苗木を植え、草を刈り、枝を切り、光と風の通りをよくする。選んだ木を切る。そんな山の仕事を楽しく伝えてくれる。</p> <p>きこりの「きこ」さんは、キを育てています。苗木を山に植え、育ったキを、木材として出す一年。山仕事仲間と、助け合って草刈りや、キの枝切り、台風がきたら後始末。美しい紅葉が過ぎ、キを切り倒します。山仕事のあれこれを、楽しく伝えるおしごと絵本です。</p> <div>2025年1月978-4-406-06823-9</div>
小学校中学年		
<div>ひろい海に ぼくたちは生きている</div> <div>長倉 洋海/作</div> <div>アリス館1,980円</div>		<p>「海は、だれの持ち物でもない。みんなのもの」。海に暮らす様々な人々に出会い、海の恵みと境界のない広がりを感じさせてくれる写真絵本。子どもたちの表情がまぶしい。</p> <p>「海は、だれの持ち物でもない。みんなのもの」。海に暮らす様々な人々に出会い、恵みと広がり、境界のない生き方について、気づいていきます。</p> <div>2024年12月978-4-7520-1122-4</div>

